

シラバスデータ			2026/4/1
科目名	現代倫理		
年度	令和8年度	授業の目的・ねらい	
学科	全学科	本学の建学の精神・校訓・教育方針を具現化するための授業。倫理を基本とした全人教育としての本科目を履修することにより、有意な人材となることを目指す。	
学年	1年		
コース	—		
開講時期	通年	社会におけるさまざまな規範の根拠について、哲学の誕生から宗教の発展、現代の動向を講義や演習、グループワークを通して学ぶ。	
授業回数	30回、定期試験2回		
授業形態	講義		
授業外学修	予習：次回授業のテーマに関連するニュースや新聞記事に日頃から目を通し、自分なりの疑問や意見を持っておくこと。 復習：毎回授業で配布するプリントを見直し、学習した哲学や思想、倫理観を自分の言葉で整理して記述すること。		
取得単位数	4単位	授業修了時の達成課題（到達目標）	
授業担当者	齋藤 照安	この授業を学ぶことにより、倫理学の基本的な考え方を身につけ、自己実現を果たすために自分が社会にどのような価値を与えられるかを考え、自己が成長を実感できるようになることを目指す。	
実務家教員	○	学識経験者	
使用テキスト 参考文献	オリジナルテキスト(プリント)、新聞記事		
評価方法	期末考査、小テスト、レポート、課題評価、平常時の授業態度、出席状況等により総合的に評価する。 なお、期末考査基準として【A評価：80～100点(30%)、B評価：70～79点(40%)、C評価：60～69点(30%)、D評価：59点以下(再試験対象)】とする。		
コマシラバス			
90分/コマ	テーマ	内容	
1	現代倫理の趣旨	現代倫理を学ぶ意味について	
2	道德教育	道德教育と問題点について	
3	倫理とは何	倫理の意味	
4	人間としての自覚	生きがい・モラリストの人間関係	
5	古代ギリシャの哲学	タレス、ソクラテス、プラトン、アリストテレス	
6	イギリス経験論と大陸合理論	ベーコン、デカルト、カント	
7	ドイツ哲学の全盛期	ヘーゲル、ショーペンハウエル、ニーチェ	
8	現代世界への挑戦	ダーウイン、マルクス、デューイ、サルトル	
9	古代中国の思想家	諸子百家、孔子、孟子	
10	老荘思想	老子(自然の道)、荘子(自由の精神)	
11	日本の経営者(1)	松下幸之助	
12	日本の経営者(2)	稲盛和夫	
13	日本の経営者(3)	鈴木敏文	
14	読書のすすめ	読書の意図するものは何力	
15	テスト前学習		
16	前期試験		

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
17	キリスト教	キリスト教の開祖(イエス・キリスト)
18	イスラム教	イスラム教の開祖(ムハンマド)
19	仏教の開祖	仏教の開祖(ブツ)
20	倫理の発展	朱子 墨子(戦争否定論)
21	日本の歩んだ道(1)	戦争後の日本の思想 戦争と平和(1)
22	日本の歩んだ道(2)	戦争後の日本の思想 戦争と平和(2)
23	日本の歩んだ道(3)	戦争後の日本の思想 戦争と平和(3) 社会契約説(ホッブス、ロック、ルソー)
24	奉仕とボランティア	意味と意義について
25	社会学の理念	社会学とは何
26	人間関係について(1)	人とのつながり
27	人間関係について(2)	人との関わりに起こる問題等(ストレス)について
28	社会をつくる	現代社会と社会運動
29	華族の絆とは何か	親子の関係 核家族化
30	日本の心	丹羽宇一郎の「守るべき日本の心」
31	テスト前学習	
32	後期試験	